

ジェンダー史学会大会シンポジウム

2011年12月10日(土)

報告要旨(2011/08/26版)

「小経営体」のジェンダー分析
—日本における歴史的展開とその方向性をめぐって—

趣旨説明 館 かおる(お茶の水女子大学)

これまでの歴史学研究は、日本経済の近代化・資本主義化の研究が多数を占めて来た。それは「小経営体」の研究が、歴史的展開の分析に積極的には関連しない、伝統的な形態と捉えられてきたからとも言える。女性史、ジェンダー史研究においても、近代家族、専業主婦、雇用女性労働者の研究が中心であった研究状況に比して、「小経営体」の研究はさほど行われず、まさしくその意味で、歴史学にとっても、ジェンダー研究にとっても、「小経営体」の研究は、稀少な研究分野となっている。

今回のシンポジウムでは、「小経営体」を取り上げるにあたり、各時代の対象領域を限定した、一つの理論解釈に規定されることなく、近世から近代における「小農経営」と都市の非農業部門での「小経営」の生産様式の成立と展開、そして現代における「小経営体」の在り方の変容など、日本の近代化に「小経営体」の歴史的展開がどのように関わってきたか、今後の方向性も含め、考察することを目的とした。

また、今回の東日本大震災による地震、津波、原発による被災は、東北地方における生業に大きな痛手を与えた。工場労働や漁業の領域に関わる復興については、比較的議論されることは多いが、酪農等を含む農業及び非農家「小経営体」については、その実態解明や今後の展望が見えずにいる。このような日本の状況の中、ジェンダー史学会では、近世から現代までのスパンで、地方社会の「小経営体」に焦点をあて、その歴史的背景と展開過程について、ジェンダー視点から検証することを試みる。

日本近世農村の「小経営体」とジェンダー—分業・心性・領域を中心に—

長野 ひろ子(中央大学)

本報告では、日本近世農村における「小経営体」としての「家」経営体を取り上げ、ジェンダーの視点から分析する。まず、3つに類型化した近世の「家」経営体に関し、それぞれのジェンダー分業の実態を詳らかにすることで、分業のみならず所有・相続・労働におけるジェンダーの構造的特質、差異化の諸相を明らかにしていく。そのことをふまえ、「家」経営体成員の心性・意識の形成のありようを考察し、ジェンダー規範・道徳にも言及する。さらに、ジェンダー領域、とくに境界周辺をめぐる問題を取り上げ、女性の主体性が「家」経営体においてどのように発揮されるのか、幕藩制国家や村落共同体など外部要因との相互連関性を視野に入れながら検討を加えていく。最後に、維新変革によって近世的ジェンダー、とくに「家」経営体のジェンダーがどう変容していくのか見通しを述べたい。

近代日本における「小経営」モデルとその射程—女性労働の配分戦略を中心として—

谷本 雅之（東京大学）

近代日本の女性の過半は、農村はもとより都市においても、「小経営」世帯に含まれていた。それら「小経営」世帯の大きな特徴は、世帯主の営む事業への生産労働と、徒弟を含む世帯員の再生産を図る家事労働の双方が、家族員たる女性（およびその代替としての家事使用人）によって組み合わせられ、担われていたことである。この小経営世帯の所得水準は、場合によっては新中間層の単一稼ぎ手世帯に並び、就業条件を加味すれば、多就業労働者世帯を上回ることが多かった。このことは、近代日本における小経営世帯が、固有の生成・存続の論理を備える、就業形態における一つのモデルたりえていたことを示唆している。本報告は、これらの論点をデータに基づいて明示することを主たる内容としつつ、その作業を通じて、近・現代日本における女性に対する社会的・経済的な規制の基盤が、「小経営」世帯の歴史的特質に根ざしていた可能性についても論じたい。

戦後日本農村の変転とジェンダー—家族農業経営と地域のレベルから—

秋津 元輝（京都大学）

戦後日本の農業経営・農村社会を性別役割分業という点から振り返ると、農村民主化政策、農業機械化・化学化にともなう農作業体系の変化、それと連動した農外就業の増大、さらに近年では農村女性起業の活発化などが変動要因として指摘できる。また農村のジェンダーは、農家経営体のみならず、それを超えた地域コミュニティとの関連のなかで考えることも重要である。本報告では、経営体内については、戦後の農家の生活時間から機械化・兼業化による役割分担の変化を明らかにするとともに、近年の先進農家における役割変化について家族経営協定も参考にしつつ検討する。経営体を超えた社会との関連については、農村女性起業や女性農業者のネットワークをとりあげ、男性とは異なる地域への関心の有り様が農村社会に及ぼす影響について考察する。さらに、外部からの働きかけとして、農村女性起業の発端でもある戦後の生活改善普及事業についても言及したい。

コメンテーター

大門 正克（横浜国立大学）／三成 美保（摂南大学）

司 会

佐藤 円（大妻女子大学）／館 かおる（お茶の水女子大学）